

学会参加奨励金報告書

学籍番号：R22-038

名前：佐口雄亮

学会名：ソウル特別市放射線士会学術大会

開催場所：ソウル特別市 江南区三成洞 159 貿易センターcoex

開催期間：2025. 3. 20～23

発表セッション名：発表はしていない

発表形態：発表はしていない

発表日時：発表はしていない

1. 発表の概要

発表はしていない

2. 質疑応答内容 他

発表はしていない

3. 関連発表の内容

発表はしていない

4. 学会参加の感想

ソウル特別市放射線士会学術大会は、KIMES と呼ばれる韓国国際医療・病院機器展示会とともに開催されていた。私にとって、本学会は初めての学会参加であり、緊張と高揚感を持って会場に向かった。私たちは初めに KIMES を巡り、1000 を超え多数出展されていた各医療機器メーカーのブースを見学した。画像にも添付している通り、ブースでは最新の医療機器展示のほか、いわゆる鉛エプロンに関する展示、操作体験ができるブース、フラットパネル検出器の内部構造紹介など多種多様であった。

次に、ソウル特別市放射線士会学術大会 Internatinal session を拝聴した。発表は英語で行われ、発表者は 14 名であった。発表者は日本(滋賀・東京)、ソウル、台湾の診療放射線技師会から選出され、年齢層は現役の大学院生から、診療放射線技師、大学教授までさまざまであった。内容としては MRI や CT、核医学検査等における、最新技術を活用した臨床利用法、及び従来技術との比較検証の発表が多く、日本からの発表では、診療放射線技師ルート確保開始に伴うリスク管理など、タイムリーな発表もあった。その中でも特に印象に残っている発表は、順天堂大学病院の塩見氏らによる発表である。主な内容は、Dual Energy CT を用いた微量の造影剤を用いた撮影で、通常量の造影撮影と同等の画像を得ようとする試みについてである。腎機能障害などで造影検査が困難な患者にも、同等画像を提供しようとするこの取り組みには大変興味を持った。

今回の学会を通じて、学びが多かった一方、私の英語力不足をひしひしと感じた。また、内容についても知識不足で理解できない点も数多くあった。今後も勉学、及びコミュニケーション能力向上に努め、いつか発表者としても学会の場に立ちたいと思えた学会参加であった。

最後に、私たちの学会参加に尽力してくださった、水田先生、松尾先生、その他の先生方、各技師会の皆様、主催者様に感謝申し上げるとともに、学会参加奨励金制度に厚く御礼申し上げます。

6. 現地参加がわかる写真(4枚)

